

株式会社城南進学研究社 第38期 中間報告書

2019年4月1日～2019年9月30日

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、当社は第38期の中間期（2019年4月1日から2019年9月30日まで）を終了いたしましたので、その概要についてご報告申し上げます。

当中間期における我が国経済におきましては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続いております。当業界におきましては、少子化による学齢人口の減少や、AIを利用した新たな教育ツールの開発、異業種からの参入やM&A・業務提携等、競争が激しくなっております。また、教育改革や新学習指導要領への移行を間近に控え、大きな転換期にあります。

このような状況の中、当社グループは、企業価値の最大化を追求し、乳幼児から社会人まで世代を超えた総合教育ソリューション企業として長期的な成長を着実に進むべく、既存事業の見直しと事業領域の拡大を通じ、収益構造改革を加速してまいりました。

教育事業におきましては、予備校に代わる新たな業態として、プロ講師による個別指導とタブレット型AI教材を用いた個別学習を提供する「城南予備校DUO」の展開を積極的に進め、7月には新たに町田校を開校、全8校舎となりました。

個別指導部門では、「英語の城南へ」をキーワードに、英語に強い個別指導塾として講座や教材を充実させ、安定した売上を確保しております。

映像授業専門教室「河合塾マナビス」は、映像授業のニーズ拡大を背景に、当社予備校運営で培ったノウハウを活かして規模を拡大しており、当中間期に新たに開校した2校舎を加えて、全23校となりました。

児童教育部門におきましては、積極的なM&Aにより事業の拡大を進めてまいりました。子会社であるJBSナーサリー（株）（12月に（株）城南ナーサリーと商号変更）は、4月に川崎市に認可保育園を1園、（株）フェアリーは埼玉県に小規模保育園を2園開園しました。開園初年度から定員満員の状況が続いております。また、9月には東京都世田谷区に認可外保育園を運営するCheer plus（株）を新たにグループ会社として迎えました。当社グループ内での相互的人的交流や研修を通じ、シナジー効果を高めております。

さらに、箱根町教育委員会が開校する公営塾の受託運営や、当社が開発したWEB学習システム「デキタス」が経済産業省の学びと社会の連携促進事業「未来の教室」（学びの場）創出事業における実証事業で採択されるなど、公共性の高い事業へも進出し、事業領域を拡大しております。

スポーツ事業部門におきましては、「（株）久

ヶ原スポーツクラブ」において、ほぼ定員となる会員数を維持しており、学童保育やWEB学習システム「デキタス」との併用者の増加などにより、定着率が向上しております。

株主の皆様におかれましては、何卒より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



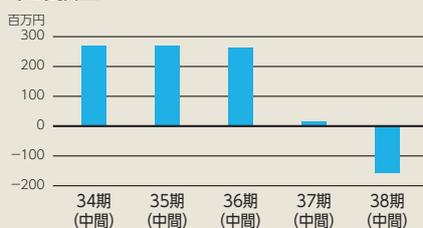
代表取締役社長CEO
下村 勝己

Financial Highlights 連結財務ハイライト

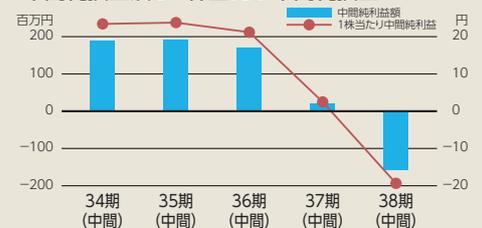
売上高



経常損益



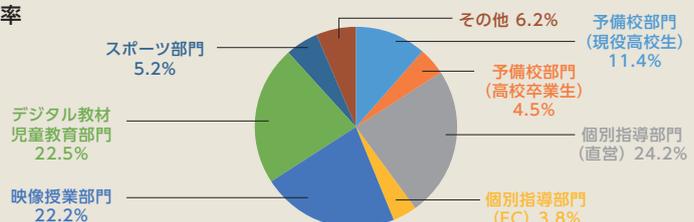
中間純損益及び1株当たり中間純損益



純資産額及び1株当たり純資産額



商品別売上高比率



— 経営理念 —

「生徒第一主義」

昨今の教育業界をめぐる環境の変化や構造的な少子化の影響などにより、市場のニーズは塾・予備校の枠を越えて多様さを極めております。私どもの使命は、まさにこの目標・目的の多様性に応えた指導システムを構築し、わかりやすい形態で提供していく機動性にあると考えます。

今や対象とされるフィールドは、大学受験の高校生・高卒生にとどまらず、乳幼児から小学生・中学生、さらには大学生、社会人へと広範囲に及んでおります。これに伴い、指導形態も集合授業から少人数、個別指導そして映像授業、eラーニングにいたるまで目的と対象に応じて最適化を図ってまいりました。

しかしたとえどのような技術や手法を用いたとしても、また指導対象が多様化しても、本物の教育をめざす姿勢に変わりはありません。

当社が立ち上げた「城南進研グループ」は、乳幼児から社会人にいたる「世代を超えた」総合教育の領域を着実に広げております。教育業界の市場競争は、異業種の参入を受けながら年々激しさを増しております。その中で社員一丸となり、今後とも『生徒第一主義』の理念を堅持し、地域に根ざす「総合教育ソリューション企業」という矜持を保ちつつ、変化に挑む意欲的な人材を輩出してまいります。

	乳幼児	小学生	中学生	高校生	高卒生	大学生	社会人
本 社	城南予備校		●	●	●		
	城南コベッツ		●	●	●	●	
	城南予備校DUO		●	●	●	●	
	城南ONE'S				●	●	
	城南医志塾				●	●	
	城南AO推薦塾				●		
	ズー・フォニックス・アカデミー	●	●				
	くぼたのうけん	●					
	城南ルミナ保育園	●					
	りんご塾		●				
	放課後ホームステイ E-CAMP		●				
	デキタス		●	●			
	河合塾マナビス				●		
グ ル ー プ 会 社	株式会社久ヶ原スポーツクラブ	●	●	●	●	●	●
	株式会社リンゴ・エル・エル・シー					●	●
	JBSナーサリー株式会社 (12月に(株)城南ナーサリーと商号変更)	●					
	株式会社アイベック						●
	株式会社フェアリー	●					
	株式会社リトルランド	●					
	Cheer plus株式会社	●	●				
株式会社イオマガジン						●	

NEWS & TOPICS

Cheer plus株式会社をグループ会社へ



楽しくIQ150のバイリンガルに
サニーキッズ

当社はこの9月に、Cheer plus (株) (以下、「Cheer plus社」といいます。)の発行済株式の100%を取得し、子会社化いたしました。

Cheer plus社は、東京都世田谷区に認可外保育園「サニーキッズ・インターナショナルアカデミー」(1歳から8歳を対象としたプリスクール・アフタースクール・保育園)を運営しており、英語教室や学童保育などに優れたノウハウを有しております。

当社グループは乳幼児教育を重要なものとして考え、これまでも「くぼたのうけん」

「ルミナ保育園」等、乳幼児教育事業を積極的に展開すると同時に、M&Aによる事業の拡大を進めております。

また、「英語の城南へ」を合言葉に、ズーフォニクス・アカデミーの展開や(株)アイベックのグループ会社化など、英語教育の拡大も進めております。

Cheer plus社をグループ会社としたことで、当社グループの既存事業とのシナジー効果により事業規模の拡大を加速し、より質の高い保育サービスを提供してまいります。

経済産業省、学びと社会の連携促進事業におけるICT教材「デキタス」の活用



デキタス

当社はこのたび、経済産業省の公募事業である、2019年度学びと社会の連携促進事業(「未来の教室」(学びの場)創出事業)における実証事業での採択を受け、「将来的に公認可能な『学校外教育サービス(オルタナティブ教育)』の実証」を実施することとなりました。2019年10月1日から当社開発のICT教材「デキタス」を使用して、神奈川県横浜市立鴨居中学校における学力支援を必要とする生徒を対象に開始しております。

当事業では、あらゆる事情により学力のサポートが必要とされる生徒に対して、「個別学習計画」を作成いたします。その計画に沿って当社のICT教材である「デキタス」を活用し、生徒の学習意欲や状況、学習データに応じて臨機応変に修正することで、「教室」以外の場でも本来の学習範囲の補填が可能となる「学校外教育サービス(オルタナティブ教育)」の実証を目的としております。

校舎・教室数 (2019年9月30日現在)

■ 河合塾 マナビス 東京都 7校舎 神奈川県 6校舎 埼玉県 4校舎 千葉県 3校舎 群馬県 1校舎 新潟県 2校舎	■ 城南予備校 DUO 東京都 4校舎 神奈川県 3校舎 千葉県 1校舎 ■ 城南予備校 東京都 3校舎 神奈川県 2校舎 埼玉県 1校舎	■ くぼたのうけん 東京都 5教室 神奈川県 1教室 千葉県 1教室 ■ 城南ルミナ保育園 東京都 1園	■ Zoo-phonics Academy (直営・フランチャイズ) 東京都 9校舎 神奈川県 1校舎 埼玉県 3校舎 千葉県 1校舎 その他 5校舎	■ 星のおうち 他 東京都 1園 神奈川県 1園 千葉県 6園 ■ ふえありい保育園 埼玉県 11園
■ 城南コベッツ (直営・フランチャイズ) 関東 207教室 東北・北海道 4教室 中部 16教室 近畿 15教室 中国 3教室 九州・沖縄 10教室	■ 城南AO推薦塾 東京都 1校舎 神奈川県 1校舎 埼玉県 1校舎 ■ 城南医志塾 神奈川県 1校舎	■ りんご塾 東京都 1教室 ■ 放課後ホームステイ E-CAMP 埼玉県 1教室 ■ サニーキッズ・インターナショナルアカデミー 東京都 1校舎	■ 久ヶ原スポーツクラブ 東京都 1校舎 ■ LINGO L.L.C. 東京都 1校舎	■ リトルランド 他 (直営・フランチャイズ) 東京都 26教室 神奈川県 18教室 埼玉県 3教室 マレーシア 1教室 その他 2教室

Corporate Data (2019年9月30日現在)

会社名 株式会社城南進学研究社
(JOHNAN ACADEMIC PREPARATORY INSTITUTE, INC.)

設立 1982年(昭和57年)9月16日

資本金 655百万円

従業員数(連結) 394名(講師、契約社員等の臨時雇用者は含みません。)

本社所在地 神奈川県川崎市川崎区駅前本町22番地2

主な事業内容 予備校、進学教室、その他各種教室の経営
フランチャイズチェーンシステムによる予備校、進学教室の募集及び経営指導
大学、高校及び中学受験用教材の企画、製作、販売
保育に関する事業
スイミングスクール及びスポーツジムの運営

役員

代表取締役社長 CEO 下村勝己

取締役専務執行役員 COO 千島克哉

取締役常務執行役員 CFO 杉山幸広

取締役 深堀和子

取締役(常勤監査等委員) 柴田里美

社外取締役(監査等委員) 西村泰夫

社外取締役(監査等委員) 阿曾友淳

執行役員 飯塚健二

執行役員 服部和佳子

Stock Information (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数 33,000,000株
発行済株式の総数 8,333,133株(自己株式604,707株を除く)
株主数 8,958名

大株主

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
有限会社シモムラ	2,690,000	32.3
下村 勝己	1,157,000	13.9
株式会社進学会ホールディングス	383,200	4.6
下村 友里	379,000	4.5
山崎 杏里	379,000	4.5
深堀 和子	320,000	3.8
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)	280,000	3.4
小川 由晃	212,500	2.6
株式会社みずほ銀行	192,000	2.3
株式会社ジャパングリエイト	152,000	1.8

(注) 上記大株主のほか、当社は自己株式604,707株を保有しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
期末配当支払株主確定日 毎年3月31日
中間配当支払株主確定日 毎年9月30日
定時株主総会の基準日 毎年3月31日
(そのほか臨時に必要あるときは、あらかじめ公告いたします。)

公告方法 電子公告
http://www.johnan.co.jp/ir/notification.html
事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合には、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

郵便物送付/電話お問い合わせ先 〒168-8507
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL. 0120-288-324

単元株式数 100株
証券コード 4720

冬期講習 受付中!

新入試完全対応

城南予備校 DUO

プロ講師 × AI 個別

11月1日、満の口校開校!

三軒茶屋校 新百合ヶ丘校 平塚校
たまプラーザ校 柏校 吉祥寺校
蒲田校 町田校

ヒトとAIが、力を合わせて学ぶ時代だ。